

～健康長寿は[◆][◆]歯から～ ～健口から[◆][◆]健幸へ～

2026
August

8

No.842

熊歯会報

熊本県歯科医師会

Kumamoto Dental Association



CONTENTS

- | | |
|--|--------------------------|
| ● 巻頭言（理事 高田 宗秀）……………3 | ● 口腔保健センター新聞第12号……………26 |
| ● 会長挨拶「新たな歩みの1年を振り返って」……………4 | ● Legend～伝説のささやき～……………28 |
| ● 代議員会報告……………6 | ● 新入会員……………31 |
| ● 理事会報告……………12 | ● 中嶋文夫管理人退任式・ご訃報……………32 |
| ● シン・歯の祭典……………15 | ● 会務報告……………33 |
| ● 郡市会報告（熊本市、山鹿市、八代、人吉球磨、
阿蘇郡市、天草郡市、菊池郡市）………18 | ● 職員人事……………34 |

— 歯科医師の倫理綱領 —

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

夏休みに天草の祖父母の家へ行く道。

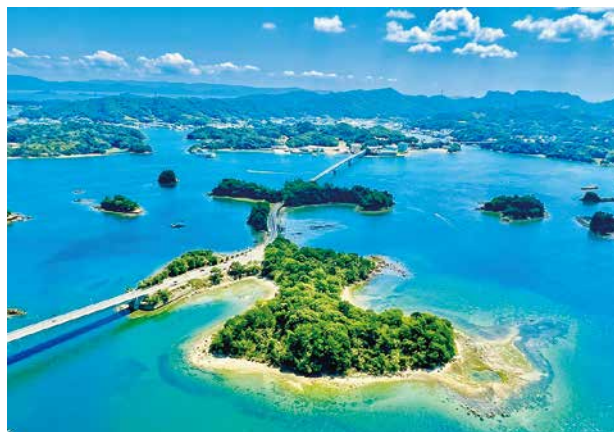
ひとつずつ橋を渡り、果ての牛深へ近づくほどに増すあの高揚感は今でも鮮明で、時の架け橋。

学校のプールやラジオ体操、行き先を決めずにペダルを踏む自転車の道、星空よりお喋りに夢中なキャンプや、夜店のソースの香り、ビカビカの免許で肝試しドライブ、ちょっとすまして「帰省」して同窓会、なかなか炭に火が点かない絶望のBBQ、キンキンに冷やした部屋のベッドに飛び込む至福……

無垢から甘やかなものまで、夏という季節は人生の特別な断片の宝箱です。

なかでも夜空にきらめく花火はまさに夏の世の夢。お盆の花火に幽世（かくりよ）の大切な面影を思い出しながら、現世（うつしよ）の夏を謳歌し、宝箱の中身を増やしましょう！

(N・A)



熊本県の子どもたち、そして 県民の皆さまの健康な笑顔のため



理事 高田 宗秀

牛島執行部のもと、学校歯科担当理事を拝命致しました高田宗秀と申します。会員の先生方には平素より学校歯科保健活動にご理解とご尽力、ならびにご指導いただき心より感謝申し上げます。

さて、熊本県は全国的に見ても子どものむし歯有病率が高い状況にあります。近年のデータでは、1歳6ヶ月児で全国最下位、3歳児ではワースト3位（全国平均約11.9%、熊本県は約18.9%）と非常に高い数値を示しています。また、12歳児では道府県別の順位は37位（全国有病率25.11%。熊本県32.7%）です。さらに県の調査によると、高校3年生になると約7割近くの生徒がむし歯を経験しているというデータもあり、成長段階を経てもなお、なかなか改善しきれていない現状があります。

こうした背景から、2010年には歯の健康づくりを総合的に推進する「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が策定され、その中で「フッ化物洗口の普及」が県の義務として位置づけられました。先生方や学校・行政関係の方々のご尽力のおかげで、10年前には小中学校における熊本県のフッ化物洗口率は100%を達成いたしました。しかし、フッ化物洗口は継続してこそ効果を発揮するものであり、推奨回数である「年間40回」にはまだ届いていないのが現状です。導入から10年近くが経過し、当時と比べ周囲の環境も変化していることから、今後は実施手法の見直しや施行側への再教育など、県行政と密に連携しながらこの課題に取り組んで参りたいと考えております。

一方、近年は歯列不正や咬合不全、口腔機能発達不全症などが大きな話題となっています。2018年にこれらが健康保険の適用対象となって以降、日歯および本会は、この問題を「むし歯予防」と並ぶ子どもたちの歯科保健における最重要テーマと位置づけております。まだ体制が十分とは言えない面もありますが、今後は、①歯科医師・スタッフ向けの研修（ボトムアップ）、②乳幼児健診や学校健診における「気づき」の仕組み作り、③かかりつけ歯科医による「お口のトレーニング（MFT）」の推進、④他職種・行政との連携（子ども・子育て支援の拡充）、といった具体的な対応策を構築してまいります。「むし歯の予防」と「お口の機能の正しい育成」を両輪とし、子どもたちの健全な成長をサポートする総合的なアプローチを強化していく所存です。

また、次世代の「人材育成」も当委員会が向き合うべき重要課題です。今後予想される歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の減少は、歯科界全体の問題と言えます。そのため、他委員会とも連携し、本会としても「世界一受けたい歯の授業」や「こどもシゴト博」といった体験型イベントを通じて、未来の歯科界を担う若者の育成に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、熊本県の子どもたち、そして県民の皆さまの健康と笑顔のため、地域保健学校歯科委員会一同、全力で職務に邁進してまいります。会員の先生方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご協力、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「新たな歩みの1年を振り返って」

熊本県歯科医師会会長 **牛島 隆**

令和7年6月28日に熊本県歯科医師会会長に就任いたしました、早いもので1年が経過いたしました。就任直後から激動の日々が続き、まさに光陰矢のごとしの感がございます。この間、会員の皆様をはじめ、役員・委員の先生方、そして職員、関係各位の多大なるご協力により、山積する会務を着実に遂行できておりますことを、まずは心より厚く御礼申し上げます。

この1年間、私は「歯科医師会の明るい未来の実現のための基礎固めと歯と口の健康を通じた県民の幸福」を掲げ、スピード感をもった実行力を重視してまいりました。

具体的には、従来の会務の充実はもとより、

会員支援：レセプト情報分析に基づく社保平均点数の適正化（増点への取り組み）

広報改革：アンバサダー制度の導入によるメディアやSNSを活用した戦略的広報

公衆衛生の推進：県予算を活用したフッ化物洗口の新たな展開

組織基盤の強化：将来を見据えた財務会計委員会の設置、資産運用の最適化、およびコンプライアンス推進室の立ち上げ

積極的な連盟活動：組織強化と情報発信、連盟会員へのさまざまな支援

歯科衛生士教育の充実：国家試験へ向けたカリキュラム強化、手厚い学生支援と質の向上

障がい者歯科への注力：口腔保健センター運営強化と人材教育

国保組合の基盤強化：自家診療の見直し、健康増進による保険者インセンティブの獲得

など、時代の変化に即応した施策の種を蒔いてまいりました。

◇ 歯科医療界が直面する厳冬の時代と諸問題へのアプローチ

しかしながら、我々を取り巻く環境は一瞬の予断も許さない状況にあります。

本年4月に発表されたデータ（東京商工リサーチ）によると、昨年度の歯科医院の倒産件数は過去20年で最多を更新し、前年比1.5倍という急増ぶりを示しました。さらに、後継者不足や先行き不安による休廃業は、この倒産件数の数十倍に上ると推計されています。事実、全国の個人開設診療所は5年以上にわたり連続して減少しており、年間1,000件以上のペースで姿を消しています。我が熊本県も例外ではなく、歯科医師の高齢化も相まって、令和4年から6年にかけて20%開設者が減少しており、全国でも2番目の減少数です。

こうした状況下において、財務省の財政制度等審議会や厚生労働省のワーキンググループからは、「人口減少に伴う医療の効率化により、歯科医療従事者の増員は不要」とする、現場の状況とは乖離した報告がなされています。

しかし、日本歯科医師会や日本歯科医師連盟が推進する「国民皆歯科健診」の実現や、超高齢社会を支える「医科歯科連携」のさらなる充実を鑑みれば、今後の歯科医療需要の拡大と、それに伴う現場の人材不足は目に見えています。

診療報酬という公定価格の制約のなかで、高騰し続ける物価や資材機材費、労働力不足に伴う経営原資の逼迫をどう克服していくか。今、歯科界は「これからの日本の医療制度において、どのような立ち位置を確立すべきか」という、歴史的な分岐点に立たされています。

◇ 明るい未来の礎を築くために

この危機を乗り越えるため、本会では中長期的なビジョンとして「歯科医療職の地位向上」「会員歯科診療所の経営安定」「持続可能な人材確保」の3軸を最重要課題と位置づけ、以下の取り組みを強化してまいります。

- ・地域社会における存在感の明示

県民へ平等かつ質の高い歯科保健医療を提供する責務を果たすとともに、歯科医療が健康寿命の延伸といかに直結しているかを社会へ発信し続け、「なくてはならない歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士そして歯科医師会」としての足元を固めてまいります。

- ・経営基盤の安定化と代弁者としての働きかけ

物価高騰や経営環境悪化の苦境を訴え、日歯や日歯連盟とも連携しながら、汗して働く会員の皆様の努力が正当に報われる診療報酬体系の実現に向け、政治活動も含めて国や県に粘り強く働きかけてまいります。また、国が進める急速な医療DXに対する会員支援にも努めてまいります。

- ・人材不足への抜本的対策と地位向上

歯科医師のみならず、歯科衛生士・歯科技工士の就業環境の改善とプロフェッショナルとしての地位向上を推し進め、次世代が夢を持てる職場環境の構築を支援し、人材確保に繋がります。

◇ 結びに

知恵を絞り、一致団結して国や社会の変化という荒波に立ち向かうこと。それこそが、今を生きる我々に課された使命と考えます。

令和9年、熊本県歯科医師会は創立120周年という大いなる節目を迎えます。これまでの長きにわたる歴史と伝統の重みを厳粛に受け止めながらも、これからの明るい歯科界の礎を築くべく、私自身が先頭に立ち、不退転の決意で奮闘努力してまいります。

会員の皆様、ならびに関係各位におかれましては、本会の歩みに一層のご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。



令和8年7月

牛島 隆



全ての議案が承認可決

— 令和8年度 定時代議員会 —



6月27日(土)午後3時より、県歯会館において、渡辺議長・河原副議長他51代議員（予備代議員含む）、牛島会長他全役員、神山・永松監事出席のもと開催された。

1. 開会：大林副会長
2. 議事録署名人指名：高橋禎代議員（熊本市）、太田宜彦代議員（上益城郡）
3. 物故会員に対する黙祷：米花征貢先生（人吉球磨）、長也寸志先生（熊本市）、宇治寿隆先生（熊本市）、福富義一先生（玉名郡市）
4. 挨拶：牛島会長



大雨と台風の接近に伴いハイブリッド開催も検討しましたが、天候回復を見込み、通常通りの開催としました。今後は災害等に備え、定款上の見直しも必要と考えております。

4月に就任された久原県健康福祉部長にもご出席いただいております。県の補助・委託事業等を通じ、県民の歯と口の健康維持に取り組んでおりますが、課題も山積しております。現在策定中の地域医療構想への歯科の浸



透、乳幼児のう蝕や歯周病対策、高齢者への訪問診療など、今後も県と連携し、県民の健康を守っていく所存です。

現執行部が発足して1年、財務の安定化、メディアを活用したイメージアップ、コンプライアンス推進室の立ち上げなど、役員一丸となり進めてまいりました。今後、確実な成果として表れるものと確信しております。

6月の診療報酬改定では、物価高騰や人材確保に対応した初再診料の引き上げなど、臨床に即した内容となりました。特に「ベースアップ評価料」の算定について、本県は約67%と全国平均を上回るものの、医科の70%超には届いていません。算定が少なければ、今後の予算縮小や初再診料の差が出るため、未申請の方は社会保険委員会が全力でサポートいたします。

国で国民皆歯科健診のモデル事業、労働安全衛生法改正の動きが進む一方、課題もあります。現在、健康増進法に基づく「歯周病検診」を10歳刻みから5歳刻みへ細分化する戦略が推進され、骨太の方針への明記に向けた働きかけに対し、国民歯科問題議員連盟から要望書を受けた総理も実現に強い意欲を示され、今後の進展に期待が高まっています。

残り1年の任期、山積する課題に全力で邁進いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

5. 来賓挨拶：熊本県健康福祉部 久原美樹子部長

6. 報告：

- (1) 日歯代議員会報告
(樺日歯代議員)
- (2) 会務報告
(宇治専務理事)



- (3) ケイ・デー・エム・ユー報告（工藤代表取締役、宇治取締役）
- (4) 監査報告（神山監事）



7. 議事：

第1号議案 令和7年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算（案）の承認を求める件



第2号議案 公益社団法人日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人選出の承認を求める件

第3号議案 熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）の承認を求める件

第4号議案 一般社団法人熊本県歯科医師会会長予備選挙規則の一部改正（案）の承認を求める件

第5号議案 一般社団法人熊本県歯科医師会財産の管理及び会計規則の一部改正（案）の承認を求める件

第6号議案 一般社団法人熊本県歯科医師会選挙管理委員会の委員の任期の特例に関する規則（案）の承認を求める件

以上すべての議案は承認可決された。

8. 協議：

- (1) 時局対策
- (2) その他

9. 質問・要望：

・（天草郡市・松本信久代議員）

- ①歯科衛生士の歯科麻酔について厚労省が認めていると報道されているが学院と本会の対応はどうなっているか。
- ②災害補助金を各郡市で人材育成に使用できるか。



[執行部回答]

- ①歯科衛生士の浸潤麻酔については法律的にも認められており、厚労省や歯科衛生士教育協議会が教育プログラムを作成中である。研修修了した歯科衛生士が歯科医師の指導の下で実施する必要があると考える。実施については歯科医師の判断となる。
- ②今年度補助金150万円については県内地区を特定し使用することになっている。JDATが発足したことで、地域の災害歯科医療コーディネーターとして災害時に地域をまとめる歯科医師を育成することになっており予算計上している。

・（荒尾市・田中文丸代議員）

財団法人「命と健康を守る口腔ケア」セミナーを荒尾で開催するか検討中であるが県の災害補助金に予算計上できるか。



[執行部回答]

補助事業は県からの内容指定があるため合致するか検討する。

・（八代市・高田博樹代議員）

八代市において歯科健診に帯同する筆記者に対し、小中学校では手当が給付されるが高校では給付されない。公平性の観点から苦情が出ており、是正に向け県へ要望してほしい。



[執行部回答]

市町村立小中学校については各自治体からの交付であるが、高校については県から一律の交付となり給付元が異なるが、いずれの金

額も同等となっている。県担当者から、予算内での健診であり帯同者への給付は現段階では難しいとの返答であった。県や教育委員会へ学校歯科健診環境改善について引き続き要望する。

・(人吉球磨・齋藤健三代議員)

市町村行政における歯科衛生士常勤採用について、市長や議会に要望するもゼロ回答である。県から各市町村へアプローチするよう、県歯から県へ要望してもらえないか。



[執行部回答]

市町村の職員採用は各自治体に委ねられており県が指示することは困難であるが、歯科衛生士の必要性は増加しており健康政策や市町村民健康事業延伸の中で、常勤採用を県に要望する。県は地域医療構想を作成中であるが、その中に歯科医師や歯科衛生士の不足について明記してもらい、市町村が人材確保に向け実動するよう要望を続けていく。また、市町村議・県議・国会議員にも歯科衛生士不足と行政歯科衛生士配置について要望していく。

・(熊本市・松永久代議員)

歯科技工所ベースアップ支援料は歯科医院という経営単位を超え、各医院の保険収入から外注先へ支払われている。また報告書を定例報告する事務負担がありシステムの改善について日歯に要望してほしい。



[執行部回答]

技工所の製作物の責任所在は歯科医院であることや歯科技工所が保険請求できないことから歯科医院へ負担がかかっているが、改善に向け要望していく。

・(熊本市・小野秀樹代議員)

①県歯会館の駐車場管理について、県歯所有車が県歯会館前に3台駐車してあるが混雑時の対応を一考していただきたい。また管理人不在となり部外者の無断駐車が懸念される。



②点数改正について厚労省のWeb上での説明や、日歯からの電子ブックが作成されているが、ネット環境にない会員が多数おり、周知方法について県歯から厚労省へ対応の要望を出して欲しい。

[執行部回答]

①駐車場管理については要望を受け対応を検討する。
②点数改正説明会を開催し内容をYouTube配信してきたが、実開催へ向け検討する。また、日歯から電子ブックの印刷版が2冊製本されているが300ページを超えており、各会員へ配布となると膨大な費用が発生するので、希望の有無等についてアンケートを実施し検討する。

10. 閉会：工藤副会長



(広報 西川 文、川島 みなみ)

賃 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	408,598,967	397,698,681	10,900,286
現金	73,940	0	73,940
普通預金	294,949,027	294,225,681	723,346
肥後銀行（メイン）	19,983,075	42,825,568	-22,842,493
肥後銀行（共済）	106,925,571	101,452,223	5,473,348
肥後銀行（学院）	106,372,915	77,299,942	29,072,973
肥後銀行（センター）	14,821,105	12,107,941	2,713,164
肥後銀行（労保）	4,037,311	4,280,028	-242,717
肥後銀行（産業歯科）	3,479,546	3,494,442	-14,896
肥後銀行（健康週間）	427,946	633,093	-205,147
肥後銀行（販売・手数料）	3,456,135	4,724,388	-1,268,253
肥後銀行（資金調整基金）	11,322,232	11,322,232	0
肥後銀行（健康文化賞）	273,483	412,804	-139,321
肥後銀行（運営基金）	600,000	9,600,000	-9,000,000
肥後銀行（運用基金）	6,661,415	6,649,885	11,530
肥後銀行（日歯諸会費）	8,184,500	8,442,500	-258,000
肥後銀行（九地連）	14,400	708,400	-694,000
商工中金	0	99,626	-99,626
熊本第一信用金庫	9,539	9,523	16
肥後銀行（災害対策基金）	8,379,854	10,163,086	-1,783,232
定期預金	113,576,000	103,473,000	10,103,000
熊本第一信用金庫（資金調整基金）	113,576,000	103,473,000	10,103,000
未収金	56,476,361	31,972,415	24,503,946
前払金	4,324,073	4,359,246	-35,173
商品	1,438,716	1,425,970	12,746
流動資産合計	470,838,117	435,456,312	35,381,805
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地（一般）	614,400,710	614,400,710	0
土地 1（一般）	30,050,000	30,050,000	0
土地 2（一般）	29,080,000	29,080,000	0
土地 3（一般）	142,713,032	142,713,032	0
土地 4（一般）	42,560,428	42,560,428	0
土地 5（一般）	369,997,250	369,997,250	0
基本財産合計	614,400,710	614,400,710	0
(2) 特定財産			
共済互助基金 定期預金	92,724,833	91,724,833	1,000,000
熊本第一信用金庫	72,724,833	72,724,833	0
肥後銀行	20,000,000	19,000,000	1,000,000
入会金積立金 定期預金	91,755,062	91,755,062	0
肥後銀行	91,755,062	91,755,062	0
基本財産積立金 定期預金	135,224,722	135,202,048	22,674
法人（肥後）	88,497,534	88,497,534	0
学院（肥後）	35,477,796	35,477,796	0
センター（肥後）	10,234,894	10,213,293	21,601
労保（肥後）	1,014,498	1,013,425	1,073
償却資産積立金 定期預金	83,588,860	72,499,787	11,089,073
熊本第一信用金庫	20,849,345	19,849,345	1,000,000
学院（肥後）	9,608,064	9,608,064	0
センター（肥後）	53,131,451	43,042,378	10,089,073
役員退職積立金 定期預金	1,405,562	3,144,783	-1,739,221
法人（肥後）	1,009,498	2,354,000	-1,344,502
学院（肥後）	140,839	280,778	-139,939
センター（肥後）	255,225	510,005	-254,780
退職死亡給付積立金 定期預金	51,946,398	47,337,579	4,608,819
法人（肥後）	33,632,738	30,746,280	2,886,458
学院（肥後）	15,121,968	13,327,533	1,794,435
センター（肥後）	1,013,165	1,089,841	-76,676
労保（肥後）	2,178,527	2,173,925	4,602
くまもと歯の健康文化賞 定期預金	15,000,000	15,000,000	0
熊本第一信用金庫	15,000,000	15,000,000	0
特定資産合計	471,645,437	456,664,092	14,981,345
(3) その他固定資産			
建物	302,041,235	313,219,445	-11,178,210
建物・本館	80,465,696	82,733,248	-2,267,552

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
建物・分館	162,950,975	170,006,188	-7,055,213
建物・分館増設	58,624,564	60,480,009	-1,855,445
建物附属設備	39,191,528	36,750,522	2,441,006
建物附属設備・本館	23,830,245	26,077,480	-2,247,235
建物附属設備・分館	15,081,939	10,302,255	4,779,684
建物附属設備・分館増設	279,344	370,787	-91,443
車両運搬具	5,638,580	1,152,181	4,486,399
車両運搬具・本会	5,064,220	1	5,064,219
車両運搬具・センター	574,360	1,152,180	-577,820
器具・備品	43,830,741	36,480,469	7,350,272
器具備品・本会	16,572,954	4,575,830	11,997,124
器具備品・学院	6,778,757	6,585,429	193,328
器具備品・センター	20,479,030	25,319,210	-4,840,180
出資金	3,010,000	3,010,000	0
電話加入権	539,424	539,424	0
ソフトウェア	3,921,720	778,360	3,143,360
ソフトウェア・本会	3,847,800	679,800	3,168,000
ソフトウェア・学院	73,920	98,560	-24,640
貸付金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	398,373,228	392,130,401	6,242,827
固定資産合計	1,484,419,375	1,463,195,203	21,224,172
資産の部合計	1,955,257,492	1,898,651,515	56,605,977
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	27,501,843	14,979,363	12,522,480
未払消費税等	586,000	788,300	-202,300
未払法人税等	81,000	81,000	0
前受金	45,750,000	44,350,000	1,400,000
授業料前受金	33,150,000	28,750,000	4,400,000
入学金前受金	12,600,000	15,600,000	-3,000,000
預り金	26,185,736	18,648,810	7,536,926
所得税	684,939	645,440	39,499
日歯会費	38,000	0	38,000
日歯年金	2,120,000	2,365,000	-245,000
日歯福祉共済	6,026,500	6,077,500	-51,000
社会保険料	108,972	0	108,972
住民税	8,500	0	8,500
日歯福祉年金負担金	17,615	0	17,615
日歯互助会費	1,000	0	1,000
職員友の会費	2,000	0	2,000
九地連会費	14,400	708,400	-694,000
諸口	17,163,810	8,852,470	8,311,340
仮受金	9,000,000	0	9,000,000
賞与引当金	8,362,567	8,240,921	121,646
賞与引当金（法人）	4,596,413	4,580,521	15,892
賞与引当金（学院）	2,623,867	2,260,667	363,200
賞与引当金（センター）	876,420	1,145,333	-268,913
賞与引当金（労保）	265,867	254,400	11,467
流動負債合計	117,467,146	87,088,394	30,378,752
2 固定負債			
長期未払金	3,527,150	415,800	3,111,350
退職給付引当金	55,534,223	52,856,661	2,677,562
退職給付引当金（法人・役員）	1,098,750	2,353,750	-1,255,000
退職給付引当金（法人・職員）	34,728,214	32,191,214	2,537,000
退職給付引当金（学院・役員）	140,000	280,000	-140,000
退職給付引当金（学院・職員）	14,883,452	13,102,109	1,781,343
退職給付引当金（センター）	889,494	968,655	-79,161
退職給付引当金（労保）	3,539,313	3,450,933	88,380
退職給付引当金（センター・役員）	255,000	510,000	-255,000
固定負債合計	59,061,373	53,272,461	5,788,912
負債の部合計	176,528,519	140,360,855	36,167,664
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	1,778,728,973	1,758,290,660	20,438,313
正味財産の部合計	1,778,728,973	1,758,290,660	20,438,313
負債及び正味財産合計	1,955,257,492	1,898,651,515	56,605,977

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業会計					小 計
	学術講演・研修事業	地域保健事業	歯科衛生士の育成事業	社会的弱者支援事業	実施共通	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
事業収益	3,000	3,111,795	113,090,720	69,714,703	0	185,920,218
学生生徒納付金収益	0	0	110,400,000	0	0	110,400,000
医業収益	0	0	0	69,714,703	0	69,714,703
手数料収益	0	589,905	2,690,720	0	0	3,280,625
事業収益	3,000	2,521,890	0	0	0	2,524,890
受取補助金等	2,000,000	22,608,800	401,613	29,673,071	0	54,683,484
受取国庫補助金	0	0	0	436,000	0	436,000
受取県市補助金	2,000,000	22,263,800	151,613	29,237,071	0	53,652,484
その他の補助金収益	0	345,000	250,000	0	0	595,000
受取負担金	0	465,000	0	0	0	465,000
受取負担金	0	465,000	0	0	0	465,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
雑収益	280,500	542,935	662,740	381,374	0	1,867,549
受取利息	0	17,935	262,789	129,824	0	410,548
広告費収益	180,000	495,000	0	0	0	675,000
賃借料収益	0	0	0	0	0	0
雑収益	100,500	30,000	399,951	251,550	0	782,001
他会計からの繰入収益	0	2,767,020	0	0	0	2,767,020
他会計からの繰入額	0	2,767,020	0	0	0	2,767,020
経常収益計	2,283,500	29,495,550	114,155,073	99,769,148	0	245,703,271
(2) 経常費用						
事業費	16,959,096	41,727,299	87,542,962	107,217,829	0	253,447,186
役員報酬	3,045,600	3,158,400	2,040,000	2,265,600	0	10,509,600
給与手当	3,869,268	6,070,793	40,483,491	55,167,169	0	105,590,721
退職給付費用	202,960	304,440	1,921,343	707,459	0	3,136,202
賞与引当金繰入額	0	0	2,623,867	876,420	0	3,500,287
法定福利費	0	0	5,017,081	3,947,173	0	8,964,254
福利厚生費	1,019,807	1,529,710	1,073,445	1,203,083	0	4,826,045
教育費	0	0	13,765,297	0	0	13,765,297
広告宣伝費	1,114,300	1,529,890	0	500,000	0	3,144,190
会議費	2,043,800	4,599,835	2,754,600	2,335,885	0	11,734,120
診療原価費	0	0	0	7,022,762	0	7,022,762
研修費	1,731,800	1,122,127	0	2,079,751	0	4,933,678
旅費交通費	2,978,432	3,679,814	1,926,931	1,817,287	0	10,402,464
通信運搬費	90,431	749,756	890,575	1,821,736	0	3,552,498
減価償却費	0	957,281	3,283,745	6,569,828	0	10,810,854
消耗品費	495,252	1,683,083	5,815,687	1,606,501	0	9,600,523
修繕費	0	0	1,512,170	1,259,819	0	2,771,989
印刷製本費	96,200	3,840,619	1,460,479	394,998	0	5,792,296
燃料費	0	0	0	19,803	0	19,803
光熱水費	0	0	0	2,243,328	0	2,243,328
賃借料	0	0	600,000	12,277,976	0	12,877,976
保険料	0	4,500	0	-142,244	0	-137,744
諸謝金	0	174,036	0	211,370	0	385,406
租税公課	0	0	0	10,800	0	10,800
支払負担金	341,000	3,078,410	1,912,012	64,000	0	5,395,422
支払助成金	0	9,100,000	0	0	0	9,100,000
委託費	140,200	953,095	0	2,712,951	0	3,806,246
渉外費	0	0	0	0	0	0
雑費	10,820	24,990	462,239	244,374	0	742,423
収益負担分	-220,774	-833,480	0	0	0	-1,054,254
管理費	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0
給与手当	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0
光熱水費	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0
過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0
収益負担分	0	0	0	0	0	0
他会計への繰出額	0	0	240,000	180,000	0	420,000
他会計への繰出額	0	0	240,000	180,000	0	420,000
経常費用計	16,959,096	41,727,299	87,782,962	107,397,829	0	253,867,186
評価損益等調整前当期経常増減額	-14,675,596	-12,231,749	26,372,111	-7,628,681	0	-8,163,915
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-14,675,596	-12,231,749	26,372,111	-7,628,681	0	-8,163,915
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
退職給付引当金戻入益	0	0	0	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産除却損	0	0	1	0	0	1
固定資産除却損	0	0	1	0	0	1
経常外費用計	0	0	1	0	0	1
当期経常外増減額	0	0	-1	0	0	-1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-14,675,596	-12,231,749	26,372,110	-7,628,681	0	-8,163,916
税引前当期一般正味財産増減額	-14,675,596	-12,231,749	26,372,110	-7,628,681	0	-8,163,916
当期一般正味財産増減額	-14,675,596	-12,231,749	26,372,110	-7,628,681	0	-8,163,916
一般正味財産期首残高	-184,173,234	-401,580,427	90,531,880	44,830,271	0	-450,391,510
一般正味財産期末残高	-198,848,830	-413,812,176	116,903,990	37,201,590	0	-458,555,426
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	-198,848,830	-413,812,176	116,903,990	37,201,590	0	-458,555,426

(単位: 円)

収益事業 (販売収入・保険手数料)	その他の事業			法人会計	内部取引消去	合 計
	福利厚生事業	その他共通	小 計	法人会計	内部取引消去	
0	0	0	0	93,680	0	93,680
0	0	0	0	93,680	0	93,680
0	0	0	0	240,000	0	240,000
0	0	0	0	240,000	0	240,000
0	0	0	0	123,851,853	0	123,851,853
0	0	0	0	123,851,853	0	123,851,853
19,295,199	41,178,000	0	60,473,199	0	0	246,393,417
0	0	0	0	0	0	110,400,000
0	0	0	0	0	0	69,714,703
12,918,446	0	0	12,918,446	0	0	16,199,071
6,376,753	41,178,000	0	47,554,753	0	0	50,079,643
3,325,300	5,000,000	0	8,325,300	3,003,000	0	66,011,784
3,325,300	0	0	3,325,300	0	0	3,761,300
0	0	0	0	0	0	53,652,484
0	5,000,000	0	5,000,000	3,003,000	0	8,598,000
0	132,000	0	132,000	545,000	0	1,142,000
0	132,000	0	132,000	545,000	0	1,142,000
0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000
0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000
323,531	287,810	0	611,341	16,159,921	-11,400,000	7,238,811
50,622	287,810	0	338,432	575,443	0	1,324,423
0	0	0	0	380,000	0	1,055,000
0	0	0	0	11,400,000	-11,400,000	0
272,909	0	0	272,909	3,804,478	0	4,859,388
0	0	0	0	11,523,000	-14,290,020	0
0	0	0	0	11,523,000	-14,290,020	0
22,944,030	46,597,810	0	69,541,840	157,416,454	-25,690,020	446,971,545
28,632,494	48,947,521	0	77,580,015	0	-11,400,000	319,627,201
1,692,000	112,800	0	1,804,800	0	0	12,314,400
9,932,241	469,649	0	10,401,890	0	0	115,992,611
468,930	25,370	0	494,300	0	0	3,630,502
265,867	0	0	265,867	0	0	3,766,154
523,508	0	0	523,508	0	0	9,487,762
1,987,554	6,628,477	0	8,616,031	0	0	13,442,076
0	0	0	0	0	0	13,765,297
120,000	0	0	120,000	0	0	3,264,190
1,850,374	26,800	0	1,877,174	0	0	13,611,294
0	0	0	0	0	0	7,022,762
0	0	0	0	0	0	4,933,678
372,412	166,400	0	538,812	0	0	10,941,276
603,848	32,192	0	636,040	0	0	4,188,538
856,843	0	0	856,843	0	0	11,667,697
723,748	1,102,282	0	1,826,030	0	0	11,426,553
116,787	0	0	116,787	0	0	2,888,776
4,262,667	0	0	4,262,667	0	0	10,054,963
0	0	0	0	0	0	19,803
690,960	0	0	690,960	0	0	2,934,288
122,177	0	0	122,177	0	-11,400,000	1,600,153
2,000	5,458,819	0	5,460,819	0	0	5,323,075
0	0	0	0	0	0	385,406
2,431,765	0	0	2,431,765	0	0	2,442,565
262,600	32,703,000	0	32,965,600	0	0	38,361,022
0	468,000	0	468,000	0	0	9,568,000
721,947	0	0	721,947	0	0	4,528,193
230,000	606,600	0	836,600	0	0	836,600
394,266	1,251,760	0	1,646,026	0	0	2,388,449
0	-104,628	0	-104,628	0	0	-1,158,882
0	0	0	0	110,506,030	0	110,506,030
0	0	0	0	3,045,600	0	3,045,600
0	0	0	0	29,345,172	0	29,345,172
0	0	0	0	2,906,460	0	2,906,460
0	0	0	0	4,596,413	0	4,596,413
0	0	0	0	6,591,105	0	6,591,105
0	0	0	0	208,550	0	208,550
0	0	0	0	6,565,883	0	6,565,883
0	0	0	0	40,874	0	40,874
0	0	0	0	7,083,406	0	7,083,406
0	0	0	0	2,289,151	0	2,289,151
0	0	0	0	14,725,800	0	14,725,800
0	0	0	0	3,280,650	0	3,280,650
0	0	0	0	778,578	0	778,578
0	0	0	0	972,733	0	972,733
0	0	0	0	559,291	0	559,291
0	0	0	0	820,891	0	820,891
0	0	0	0	641,010	0	641,010
0	0	0	0	7,313,100	0	7,313,100
0	0	0	0	476,090	0	476,090
0	0	0	0	500,000	0	500,000
0	0	0	0	3,905,000	0	3,905,000
0	0	0	0	5,150,469	0	5,150,469
0	0	0	0	7,995,578	0	7,995,578
0	0	0	0	1,550,839	0	1,550,839
0	0	0	0	3,767,640	0	3,767,640
0	0	0	0	-4,604,253	0	-4,604,253
0	1,000,000	0	1,000,000	12,870,020	-14,290,020	0
0	1,000,000	0	1,000,000	12,870,020	-14,290,020	0
28,632,494	49,947,521	0	78,580,015	123,376,050	-25,690,020	430,133,231
-5,688,464	-3,349,711	0	-9,038,175	34,040,404	0	16,838,314
0	0	0	0	0	0	0
-5,688,464	-3,349,711	0	-9,038,175	34,040,404	0	16,838,314
3,600,000	0	0	3,600,000	0	0	3,600,000
3,600,000	0	0	3,600,000	0	0	3,600,000
3,600,000	0	0	3,600,000	0	0	3,600,000
0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	1
3,600,000	0	0	3,600,000	0	0	3,599,999
-2,088,464	-3,349,711	0	-5,438,175	34,040,404	0	20,438,313
-2,088,464	-3,349,711	0	-5,438,175	34,040,404	0	20,438,313
-2,088,464	-3,349,711	0	-5,438,175	34,040,404	0	20,438,313
8,285,725	88,740,257	0	97,025,982	2,111,656,188	0	1,758,290,660
6,197,261	85,390,546	0	91,587,807	2,145,696,592	0	1,778,728,973
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
6,197,261	85,390,546	0	91,587,807	2,145,696,592	0	1,778,728,973



任期半ばを迎え、更なる前進を！

— 第14回理事会 —

6月9日(火)午後7時より県歯会館において、牛島会長他全役員、神山・永松監事、渡辺代議員会議長、河原代議員会副議長出席のもと開催された。

1. 開会：椿副会長
2. 挨拶：牛島会長

今日の理事会は、6月27日に行われます定時代議員会の準備として、いつもと変則ではありますが、議長、副議長にもご参加いただきました。ありがとうございます。

昨年6月28日にこの執行部が代議員会で承認をいただき、間もなく1年を迎えようとしています。当初、示した歯科医師会の方針の中に、諸課題に向けた戦略的施策、10年後を見据えた歯科医師会の運営、そして歯科のイメージアップ戦略など、様々なものを提出しましたが、1年という短期間でありまして、まだまだ結果が見えるものではありませんが、各所管、各役員の先生方は、それぞれの立場で着実に実行していただいていると感じているところです。

特に、先日のくまモンスクエアでのよ防さん出演は、民放全社にニュース配信をいただいたという過去にない例でしたし、歯の祭典も花王、明治安田生命、ロッテ、熊日と協賛各社そろって大変有意義な会でした。これから予防歯科という形を推し進めていくためには、健康をテーマにしている企業とコラボしていくというのは、もっと必要になると思いますので、是非とも進めていただきたいと思いますし、私もこの1年、テレビやラジオ、新聞にかなり出させていただいておりますので、今後もそういったメディア戦略を進めていただきたいと思います。

また、6月から社会保険診療報酬改定が始まり、現場の方はかなり混乱もあるように伺っています。ただ、今回の点数改定も臨床に則した改定になっています。この1年で平



均点数も徐々に上がってきていますので、ますます平均点数を上げて今の物価高、中東情勢の厳しい中、経営の基盤の安定に少しでも会員に支援を図っていただきたいと思います。

そのほか、コンプライアンス推進室を立ち上げ、資産運用、選挙管理委員会の任期の変更など、着実に進めていただいていると思います。また、県から地域医療介護相互確保基金の新規事業の提案について依頼が来ています。国も県もかなり予算を削減されてきており、厳しくなっているところですが、私どもとしても事業の組み換えや、スリム化など転換期にきているところだと思いますので、そのあたりは先生方と相談をしながら進めていきたいと思っています。残り1年あつという間に過ぎますので、各所管それぞれの立場でしっかりと会務に励んでいただければと思います。

3. 議長選出：牛島会長
4. 議事録署名人：神山・永松監事、牛島会長
5. 会務報告：(自：5月22日～至：6月4日)
 本会総務：理事会、常務理事会
 社会保険：社会保険委員会
 地域保健学校歯科：こどもシゴト博in熊本
 医療対策：医療相談・苦情対応

センター：アクティブネットワーク九州
学 院：オープンキャンパス、高校訪問
以上、各担当役員より報告がなされた。

6. 報告事項：

1. 退会会員について
2. 5月末会計現況について

7. 連絡事項：

1. 7月行事予定について

8. 承認事項：

1. 新入会員の承認について

【承認】審議の結果、第1種会員2名の入会を承認した。

2. 関係機関・団体からの役員等推薦依頼について

【承認】①理事／公財）熊本県総合保健センター

推薦：牛島会長（任期：令和8年度定時評議員会（6月予定）
選任後～令和10年度定時評議員会終結時）

【承認】②熊本県歯科保健推進会議 委員
／熊本県健康づくり推進課

推薦：大林副会長、宇治専務理事
（任期：就任日～令和10年3月31日）

【承認】③九州地方社会保険医療協議会熊本本部 臨時委員／九州厚生局
熊本事務所

推薦：野田理事（任期：令和8年10月～）

【承認】④財務特別委員会 委員／公財）
熊本県スポーツ協会

推薦：牛島会長（任期：令和8・9年度）

【承認】⑤医・保・福連携協議会 役員／
熊本県医療・保健・福祉団体協議会

推薦：牛島会長（任期：令和8年7月～令和10年6月まで）

3. 後援名義使用並びに講師・指導助言者推薦依頼について

【承認】①〔後援〕第30回熊本県国保地域医療学会／熊本県国保地域医療学会

【承認】②〔後援・指導助言者〕第64回熊本県学校保健研究協議大会／公財）熊本県学校保健会

・②指導助言者として、大林副会長の推薦を承認した。

9. 議題：

1. 関係機関・団体への会費等の納入について

【可決】①令和8年度会費／熊本県社会保険委員会…4,000円

【可決】②令和8年度協賛金／「ダメ。ゼッタイ。」普及運動熊本県実行委員会…10,000円

2. 令和7年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算（案）について

- (1) 正味財産増減計算書
- (2) 貸借対照表
- (3) 現金・預金残高表
- (4) 財務諸表に対する注記
- (5) 公益目的支出計画実施報告書

【可決】令和7年度会計決算（案）について審議の結果、代議員会へ上程することを可決承認した。

3. 令和8年度定時代議員会の日程資料並びにタイムスケジュールについて

【可決】代議員会の日程及びタイムスケジュールについて、代議員会議長・副議長からも意見を伺い、審議の結果、原案通り可決承認した。

4. 令和8年度定時代議員会の会務報告について

【可決】代議員会の会務報告について説明。審議の結果、原案通り代議員会にて報告することを可決承認した。

5. 令和7年度(有)ケイ・デー・エム・ユー事業報告及び決算について

【可決】(有)ケイ・デー・エム・ユーの事業報告及び決算について審議の結果、代議員会にて報告することを可決承認した。

6. 令和8年度第1回九地連協議会出席者及び提出協議題について

【可決】8月1日(土)の九地連協議会の出席者について説明。審議の結果、これを可決承認した。

7. 令和8年度第1回九州各県歯科医師会専務理事会提出協議題について

【可決】9月12日(土)の九州各県歯科医師会専務理事会提出協議題について、宇治専務理事に一任することで可決承認した。

8. ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展について

【可決】熊本地震から10年を節目とする防災関連の出展依頼であり、費用負担がないことから、審議の結果、ブース出展をすることで可決承認した。

9. FM熊本「FMK poppin' breakfast」放送継続について

【可決】審議の結果、もう1クール(3ヶ月)放送を継続することで可決承認した。

10. 会館・学院警備システム変更等について

①本会：警備主装置移設・システム変更、電気錠設置見積書

②学院：警備システム変更見積書

【可決】審議の結果、本会分、学院分ともに静脈認証で進めることで可決承認した。

10. 協議事項

1. 令和9年度地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る新規事業の提案について

・委託事業(ヘルシー元気8020、介護者実技)の予算が削減する可能性があることを説明。

今後の委託に関して、県行政からは、補助事業としてまとめて進めていくことを検討している。県歯としても、年度に入ると採択を待つことなく動けるため、県行政の補助としてまとめて進めていきたいが、委員会をまたぐ可能性があり、委員会同士での連携、指標を新たに検討する必要があるため、今後の常務会で協議していく。

11. 監事講評：

神山監事「今後5年間の歯科界の大きな問題として、まず1番目は歯科技工士不足。次に人材不足で確保できない歯科衛生士。3番目が材料費高騰への対応。4番目は院長高齢化による後継者問題。5番目は、導入コストが高くなるデジタル化への対応。とにかく1番の問題は人材不足。どうすれば魅力ある歯科衛生士を育てて、歯科医院に来てもらえるか。考えたい問題だと思います。」

永松監事「皆様、慎重審議お疲れ様でした。今月最初のイベントで、学院の皆様、委員会の皆様、貴重な時間を割いて、大変素晴らしいイベントをありがとうございました。歯科のイベントは11月8日までないので、その間にFM熊本で情報発信をしたいと思います。むし歯(648)もいい歯(118)も語呂合わせですが、語呂合わせなら他にもう1つあります。1月18日も“いい歯”、4月18日も“よい歯”8月21日は“歯にいい”その日に、「いい歯を作るのはあなたですよ」など、そういう風に歯科衛生士の募集に使うのも面白いのではないかと思います。それと、某紙で毎年2,000人くらい国家試験に合格して歯科医師が生まれていますが、今度から1,500人に絞るという記事が出ていました。本当なのかなと思っているところです。調べていただければと思います。」

12. 閉会：大林副会長

(広報 秋山 清)

シン・歯の祭典

－ 歯と口の健康週間事業 －

6月6日(土)午後1時より県歯会館4階ホールにて、標記事業が開催された。これは6月4日～10日の「歯と口の健康週間」に合わせた啓発事業である。昭和39年より開始され、60年を越える歴史があり、時代に合わせてブラッシュアップしている。本年度もYouTubeによる生配信を行った。

今回も明治安田生命のご協力のもと、唾液測定によるむし歯、歯周炎、口臭リスクを調べる歯科健康相談コーナーや、ベジ（野菜摂取）チェック、血管年齢測定コーナーを会場外通路に設け、大盛況であった。



明治安田生命のご協力のもと、唾液検査アドバイス

大林副会長の開会の辞で幕を開け、主催者を代表して牛島会長と県健康づくり推進課の堤茂課長より挨拶があった。牛島会長は受賞者への祝辞、来場者と協賛の方々への感謝と共に、長寿の源は全身の健康があつてこそ、歯と口の健康が大いに寄与している事を強調された。堤課長も、すべての県民に切れ目のない良質な歯科医療を提供できることを目標に掲げた県の取り組みを挙げ、今回のイベントの成功を祈念頂いた。

続いて主催者の紹介後、「高齢者のよい歯のコンクール」の表彰が行われた。この賞は「80歳で20本以上歯がある健康な高齢者を表彰することで県民の歯科保健に対する意識を高める」事を目的とした恒例イベントである。

馬場常務理事より審査経過報告があり、各地区会員から募集した8020を達成された県下144人から特に優秀な方が選出され、熊本県知事賞1人、熊本県歯科医師会賞2人、8020優秀賞4人、計7人の受賞があった。更に初の試みとして、表彰式のサポートで「歯っぴー健口アンバサダー」の金子帆南（かねこほなみ）さんと、日本歯科医師会PRキャラクターのよ坊さんが登場し、会場は大いに盛り上がった。牛島会長、堤課長の受賞者への賞状と記念品贈呈の後、受賞者のインタビューを金子アンバサダーに務めて頂いた。県知事賞を受賞された81歳の男性の方の「普段健康の為に気を付けていること」では、お酒も少量にされ、太極拳や散歩を日課にして気を付けているというコメントで素晴らしかった。対照的に県歯科医師賞の83歳の男性の方は、お酒は毎日飲む、健康の秘訣は特にないと言われ会場に笑いが起こった。表彰式に出席された3人の受賞者の方は皆若々しく、姿勢もよく、コメントもしっかりされていた。最後に、よ坊さん、金子さんも一緒に記念撮影を行い、今年も盛り上がった表彰式となった。



受賞者の皆さんと素敵な笑顔で記念撮影

祭典の最後を締める特別講演では、東京都江戸川区宝田歯科の宝田恭子先生をお招きして「知って納得、簡単顎顔面筋トレーニング」という演題でご講演いただいた。宝田先生は

主に「美顔トレーニング」「アンチエイジング」等の内容で沢山の書籍を出版されている。はじめに日本は長寿国（平均寿命は女性87.13歳で40年連続世界1位！男性も81.09歳で世界6位）という点に触れ、この平均寿命を乗り越え、楽しく健康に生きるためのトレーニングを来場者と共に行った。



トレーニングの方法を分かり易く解説いただいた

まず、正しい呼吸には何よりも姿勢が大切で、ご高齢でも若々しい方は姿勢が真っすぐであると述べられた。表情筋の解剖図等を用いた分かりやすい説明があったが、顎顔面筋、表情トレーニングについて、以下抜粋する。

①姿勢リセット：口を閉じて鼻からゆっくり息を吸って、おちょぼ口でゆっくり息を吐く

②ほうれい線、口のたるみの改善：ペンを上口唇と鼻の下に横向きに挟み10秒間キープ運動、また鼻から大きく息を吸って姿勢を正しお腹に力を入れて「あ——」と息が切れるまで発声

③広頸筋トレーニング：左の腕を肩からまっすぐ伸ばす（手首は下向き）首を右に傾け右手で左の鎖骨を抑える→腕を伸ばしたまま90度前方に動かす→元の位置に戻す、を10回程繰り返す（反対側も同様）→口角が上がり、効果は8時間程度持続する。更には誤嚥、睡眠時無呼吸を予防するトレーニング等もあり、興味を持たれた方はネット検索や今回のYouTubeアーカイブ配信が視聴可能。

1時間半の講演はあっという間に終了し、会場からの質問もあり非常に有意義な時間となった。



宝田先生、素晴らしいご講演をありがとうございました

最後に、宇治専務理事より閉会の挨拶があり、来場者、視聴者、協賛企業の方々（花王、サンスター、ロッテ等企業）への感謝の辞を述べられ、大盛況で終了した。

また各局ニュースでの放送もあり、このイベントが県民の健康、健口啓発の為に更に広く認知され、これからも長年継続できることを祈念する。



多数の歯科医療従事者の参加があった

（理事 松原 崇士）



YouTubeアーカイブ配信はこちら

高齢者のよい歯のコンクール 表彰式参加者インタビュー

熊本県知事賞 石松 博美 様

(1) 受賞の感想

まさか、受賞できるとは思ってもしなかったので驚いていますが、ありがたく思っています。

(2) 普段の生活で気をつけていること

- ①炭酸飲料は飲まない ②甘いものは食べない
③歯磨きは、4分以上かける。毎日、歯間ブラシを活用し、歯石は軟らかいうちに週一回、自分で取る。
④歯科医院で半年に1回、チェックしていただいている。

(3) 健康の秘訣

①適度な運動（毎日50分間のウォーキング） ②睡眠（8～9時間） ③趣味の太極拳や社会参加（サロン、老人会、グラウンドゴルフ、体力測定会等）



熊本県歯科医師会賞 森本 育博 様

(1) 受賞の感想

とても驚いています。

(2) 普段の生活で気をつけていること

特に気を付けていることはありません。

(3) 健康の秘訣

特にないです。父と母にただただ感謝しています。



8020優秀賞 桑原 照子 様

(1) 受賞の感想

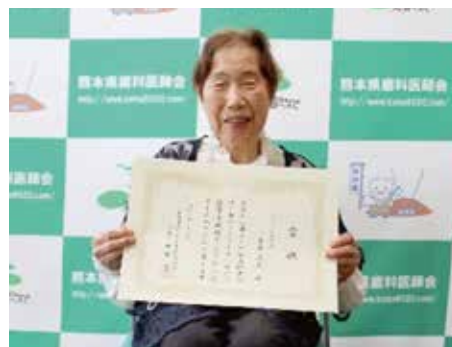
会場での受賞なんて初めてのことで、大変うれしいです。

(2) 普段の生活で気をつけていること

三食きっちり食べています。

(3) 健康の秘訣

ストレスを溜めず、少しの運動と野菜作りをしています。



〈高齢者のよい歯のコンクール受賞者〉

熊本県知事賞	山鹿市	石松 博美	81歳
熊本県歯科医師会賞	玉名郡市	森本 育博	83歳
熊本県歯科医師会賞	阿蘇郡市	菊池三保子	86歳
8020優秀賞	熊本市	山口 隆	87歳
8020優秀賞	菊池郡市	松川 正	82歳
8020優秀賞	人吉球磨	板崎 弥吉	90歳
8020優秀賞	天草郡市	桑原 照子	80歳

(敬称略)

熊本市歯科医師会

「地域連携の循環」の構築が鍵

— 第1回学術講演会 —

6月6日(土)、県歯会館3階熊本市歯会会議室にて、標記講演会が渡辺会長の開会の挨拶の下開催された。

講師に伊東歯科口腔病院 小児・障がい者歯科 深水篤部長を迎え、「小児や障がい児(者)の口腔管理について—管理の方法と保険算定—」との演題にて行われた。



たくさんの参加者が聴講された

本講演では、熊本市の小児におけるう蝕有病率が政令指定都市の中で依然として高い水準にある現状を踏まえ、地域歯科医療が果たすべき役割と具体的な臨床指針が示された。特に障がい児診療においては、かかりつけ医が口腔内の異常を早期に発見し、2次・3次医療機関へ適切に紹介する専門機関としての橋渡し役の重要性が強調された。

深水先生は、小児歯科診療の本質を、単なる疾患治療に留まらず、成長発達を支え「健全な顎口腔系を育成する」という広義の咬合誘導そのものであると定義した。実際の行動調整においては、ラバーダム防湿の有用性が詳述された。これは防湿のみならず、不意の体動による誤飲・誤嚥や軟組織の損傷を防ぐ「安全装置」として不可欠であり、診療の効率化と安全性確保に直結するものである。心理的アプローチとしては、TSD法やスモールステップによるトレーニング、できたことを褒めて自信をつけさせる正の強化が基本となるが、困難症例に対しては静脈内鎮静法や全身麻酔を適切に選択する臨床判断が求められると示された。



小児・障がい者歯科診療について、様々な観点から講演される深水先生

臨床面では、乳歯の解剖学的特徴を考慮した乳歯冠の活用や、保険適用が拡大された保隙装置の適切な算定について解説がなされた。さらに、近年注目される口腔機能発達不全症への対応として、チェックリストを用いた客観的評価や口腔筋機能療法(MFT)の実践が紹介された。

低年齢期からの機能管理は、将来のフレイル予防の土台となる極めて重要な介入であると強調された。

最後に、熊本県内における障がい者歯科医療の現状と課題が提示された。専門医療機関の多くが市内に集中している現状を踏まえ、かかりつけ医が日常的なメンテナンスを担い、困難症例を専門機関へ繋ぐ「地域連携の循環」を構築することが、患者とその家族を支える鍵となると述べられた。



質疑応答も活発に行われた

本講演は、明日からの臨床に直結する具体的な手法を学ぶ貴重な機会となった。最後に山口理事の閉会の挨拶の後、盛会のうちに終了した。

(竹中 誠一郎)

山鹿市歯科医師会

地域に根付くイベントに～新しい取り組み

— 歯の衛生週間事業 —

6月6日(土)、山鹿市健康福祉センターにて山鹿市歯会、県歯科衛生士会山鹿支部、山鹿市健康増進課の協力で標記事業を開催した。

当日は歯科医師による口腔内診査、歯科相談、希望者へフッ素塗布、口腔機能低下症検査、歯科衛生士によるブラッシング指導を行った。

開催時刻前から続々と来場され、最終的には150人の参加人数となり過去2番目の多さを記録した。参加者は家族連れが多く楽しそうに事業に参加し、サンプルの歯ブラシやおもちゃのプレゼントを渡すと喜んで帰って行かれた。今年度は新しい取り組みとして食生活改善推進員

による歯に関する絵本の読み聞かせや紙芝居をしていただいた。また、栄養士会からはQRコードで親子料理教室のレシピを読み取れる様にしていたいたり、食育の重要性を広く知ってもらうきっかけになった。

事業終了後、行政関係者を含めた懇親会を行い、今後もこの事業への協力を継続しつつ、他職種との連携を深め山鹿市民に歯の衛生週間事業がより根付くための意見交換が活発に行われた。

(大川内 雅哉)



子どもから大人まで多くの市民が参加し笑顔が見られた



八代歯科医師会

多くの市民で賑わう

— やつしろ歯の祭典 —

6月6日(土)、八代市役所多目的ホールにて、標記イベントが開催された。例年は桜十字ホールやつしろで行われていたが、今年は初めて八代市役所で行われた。

午前9時20分よりオープニングセレモニーが行われ、小野泰輔八代市長、服部希世子八代保健所所長、鶴田八代歯会会長による挨拶があり、口腔の大切さについての話や全身との関わりについての話などがあった。小学生図画ポスターコンクール表彰式では八代市賞1人、歯科医師会賞1人、金賞6人が表彰され、八代美術協会元会長の萱嶋義邦先生による講評を頂いた。



小学生図画ポスターコンクールの表彰式

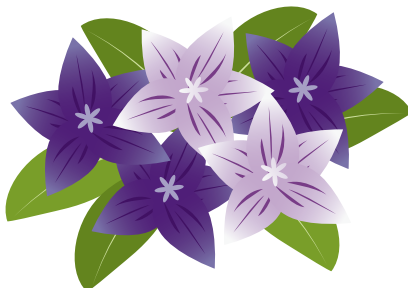
午前10時より歯の祭典が開始され、歯科健診・相談、フッ素塗布、口腔内細菌測定、咬合力チェック、口腔内スキャナーのデモ、八代歯科技工士会による指模型作製を行った。午前11時、午後2時から『ちくワン』の来場があり、ちくワンの周りには多くの人が集まった。来場者は755人で昨年度とほぼ同じ来場者数であり、市民の口腔に対する関心を高めることが出来たイベントであった。



歯科健診の様子

今後は、来場した方がかかりつけ歯科医院へ受診したかどうか、また、このイベントをきっかけに歯科医院を受診したかどうかを調べていくことも重要であり、来年度の課題として挙げられる。

(阿川 健太郎)



八代歯科医師会

議案は可決された

— 総会 —

6月20日(土)午後4時よりホワイトパレスにて、標記会が行われた。高野専務理事による司会進行が行われ、高田副会長による開会の言葉があった。議長、副議長は執行部一任により増田議長、野田副議長が指名された。続いて鶴田会長の挨拶があり、途中で山口前会長への感謝状と記念品贈呈が執り行われた。その後、各委員会の報告、県歯に出務している先生方からの報告があり、八代歯会会計決算案の議案が挙げられた。議案は全会一致で可決された。会員の協力により非常にスムーズな進行を行うことができ、総会は終了した。



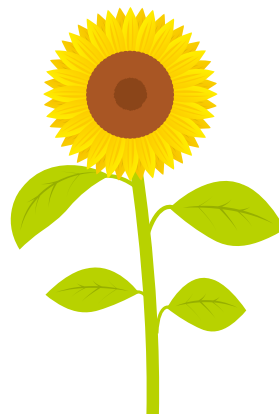
会員の協力で、会はスムーズに進行された

終了後は同会場で懇親会が行われた。来賓からは、椿賢県歯常務理事、小野泰輔八代市長、坂田孝志県議会議員よりご挨拶の言葉を頂き、乾杯の発声は、上野直嗣八代市医師会副会長より行われた。多くの来賓にお越し頂き、杯を交わしながら様々な意見を交換し、有意義な時間を過ごすことが出来た。



有意義な時間となった懇親会であった

(阿川 健太郎)



人吉球磨歯科医師会

会の名称変更後、初の無料歯科検診を開催

— 歯と口の健康週間 無料歯科検診 —

6月6日(土)午後2時より人吉市保健センターにて、人吉球磨の住民を対象とした無料歯科検診が開催された。

本イベントは人吉球磨歯科医師会へと名称を変更後、1回目となる開催だった。

当日は100人程度の来場者があり、家族で参加された方が多く、子どもを対象としたくじ引きは参加賞の景品も品薄となり大盛況であった。



無料歯科検診に多くの方が来場された

実施内容は会員による歯科検診および高齢者対象の嚥下力検査、歯科衛生士会によるフッ化物塗布が行われ7020達成者には齋藤会長より表彰が行われた。

これまで人吉市市民を対象として実施されてきた本イベントは、今後、球磨郡の住民も対象となることから、更なる参加者の増加が見込まれる。地域への積極的な周知により、より多くの住民の参加が期待される。



齋藤会長より、7020達成者へ表彰状が授与された

(入江 昭仁)

人吉球磨歯科医師会

賛成多数にて可決承認された

— 総会 —

6月20日(土)午後4時より、あゆの里にて標記会が催された。相良副会長の開会の辞、議長に熊埜御堂会員を選出し、齋藤会長の挨拶で開始された。



役員より各所管の報告が行われた

愛甲専務理事より会務報告、各担当理事から委員会報告、清水常務理事より会計報告があ

り、奥田・塚本監事より適正に運営されている旨会計監査報告があり賛成多数にて可決承認された。

内山副会長の閉会の辞があり、総会は終了した。引続き、牛島県歯会長と松岡市長をお迎えして懇親会が行われた。



牛島県歯会長よりご挨拶をいただいた

(田中 勝久)

阿蘇郡市歯科医師会

高齢者施設従事者向けに口腔ケア研修会を開催

— 歯と口の健康週間事業 —

6月10日(水)午後5時30分から南阿蘇村保健センターにて標記事業を行った。この研修会の主催は阿蘇地域歯科保健連絡協議会で、高齢者施設に従事している職員が、高齢者の口腔内の状況を理解し、日常のケアで取り組める口腔機能の回復を学び、安全で効果的な口腔ケアの実践ができることを目的にしている。県歯会町田由美子常務理事による講演と県歯衛生士会阿蘇郡市支部による演習の構成で、阿蘇管内の3地区(令和6年度の中中部地区、令和7年度の小国地区に続き今年度は南部地区および阿蘇市の施設)を対象として開催した。



今年度は阿蘇管内の南部地区と阿蘇市の施設から参加

町田先生から「施設等における口腔衛生管理について」～ここをチェック！今日からできる口腔内評価のポイント～という演題で講演いただき、正常な口腔の状態のチェックとして歯肉の色がピンク色で引き締まっているか、歯の表面の歯垢の状態、舌の色がピンク色で舌苔が付いてないか、唾液はサラサラで口腔乾燥がないか、歯に欠けや穴は無いか、口腔粘膜は連続性

があり平滑でピンク色か等を項目として挙げられた。次に口腔の不具合の好発部位として唾液減少や口呼吸による口腔乾燥や歯根面の露出に伴う歯周炎の増悪や根面カリエスや義歯を使用している人の口腔粘膜を説明された。最後に口腔の評価方法として日本語版OHAT-Jの付け方や食後の口腔内残渣の診かたと残渣が示す機能障害とリスクについて説明され、口腔アセスメントについて解説された。

後半の「歯科衛生士による口腔ケア体験会」では、歯科衛生士が施設の利用者に対して行っていることを詳しく説明しながら口腔ケアや口腔機能管理について解説や実習があり、皆さん熱心に取り組まれており、大変好評であった。



口腔ケアや口腔機能管理について解説や実習に取り組んだ

最後に阿蘇保健所長が閉会の挨拶で高齢者に関わる人が観察して口腔の不具合に気づき、専門職につなぐことが大切だと挨拶され、閉会した。

(三森 康弘)

天草郡市歯科医師会

偉大なる先輩方をお称えして

— 長寿のお祝いの会 —

6月13日(土)午後6時よりアマクササントカミングホテルにて、標記会が開催された。本年度は卒寿(90歳)の深川恭至会員、米寿(88歳)の青砥忠孝会員、喜寿(77歳)の岡田理介会員の表彰であった。まず竹中副会長より開会のご挨拶があり、3人の先生方の長年に渡る地域住民の健康向上と学校歯科医としての貢献を称えられ、更に令和2年度秋の叙勲にて「瑞宝双光章」、本年度3月に叙勲「旭日双光章」を受章された青砥会員の功績は天草郡市歯会にも大変喜ばしい事であったと述べられ、記念品と花束贈呈が行われた。



左から岡田会員、深川会員、青砥会員

その後の3人の先生方のスピーチでは、口を揃えて仰っていたのが「人生は健康第一」であった。ご病気で手術を経験された先生もおられ、乗り越えられた後の「健康であることの素晴らしさ」、日々の歯科医療、趣味を楽しむのも健康があってこそそのものと仰っていた。つい日々の生活で忘れてしまう「健康であるありがたみ」を再認識した。

乾杯の後、祝賀会が行われ、終始和やかな雰囲気の中で歓談が続き、盛会のうちに閉会した。



先生方 誠におめでとうございます。いつまでもお元気で！

(松原 崇士)



菊池郡市歯科医師会

伝統を継承し、進化へつなぐ

— 定時総会 —

6月20日(土)、笹乃家において標記会ならびに懇親会が開催された。議決権を有する一般会員77人に対し、出席35人、委任状37人が確認され、定款に基づき総会が成立した。

総会では、園木副会長の開会の辞に続き、議長に阿久根秀典会員、副議長に南信之会員を選出し、議事が進行された。城会長は挨拶の中で、「伝統、継承、そして進化」をキーワードに、本会の歴史を大切に受け継ぎながら、時代に合わせて発展していくことの重要性を述べられた。

その後、会務報告や各委員会報告、代議員会報告などが行われ、令和7年度決算や理事定数変更を含む各議案について審議が行われた。い

ずれの議案も賛成多数により承認可決され、本会運営に関する重要事項が確認された。また、古希・還暦を迎えられた先生方や学校保健会表彰についても報告された。

総会終了後には、歯科医師連盟に関する説明や、社保担当理事による診療報酬改定についての講演が行われ、参加者にとって実務に直結する有意義な学びの機会となった。

続いて開催された懇親会では、会員相互の親睦が深められ、和やかな雰囲気の中で交流が行われた。地域歯科医療を支える仲間同士が語り合い、今後の発展と連携を再確認する有意義な一日となった。

(野田 一樹)



会員相互の親睦を深めることができた

口腔保健センター新聞

第 1 2 号



外来では、障がいをお持ちの方の歯科診療を行っています！ ※休日診療はやっていません×

診療案内	月	火	水	木	金	土	日 祝日
外来診療	★	10:00~13:00 14:00~17:00	休	10:00~13:00 14:00~17:00	10:00~13:00 ◎	10:00~13:00 14:00~17:00	休
IV-s 診療 【日帰り】		●		●			

★月曜：訪問診療（障がい児・者）

◎金曜午後：診療トレーニング

IV-s（静脈内鎮静法）：午前は【処置中心】、午後は【P 管理】にて診療しています♪

障がいをお持ちの方への歯科保健指導・健診活動の実施状況

熊本県歯科医師会口腔保健センターは、障がい児（者）や一般歯科診療所での対応が困難な方を対象に、歯科医療および歯科保健指導を提供している。また、地域の福祉・教育機関と連携しながら、継続的な口腔健康管理体制の構築を担っている。特に障がいのある方への歯科支援においては、治療のみならず日常生活における口腔ケアの定着が重要であり、本人・家族・施設職員・学校関係者を含めた多職種連携が不可欠となっている。

■ 歯科保健指導・健診活動の実施状況

令和 8 年度上半期において、当センターでは障がい者支援施設、療育施設、児童発達支援センター、特別支援学校等を対象に歯科保健指導および歯科健診を実施した。

対象施設は、児童中心施設、重度心身障がい者施設、成人入所施設、放課後等デイサービス、支援学校など、多様な環境下での支援を行った。

具体的には、児童を対象とした施設ではセルフケア習得支援を中心に、重度心身障がい者施設では施設職員への介助方法を含めた保健指導を行い、成人施設では施設職員へ口腔管理方法への支援を実施した。また親子参加型の施設では、家庭での継続的な口腔ケアの定着を目的とした指導を行った。

■ 施設ごとの特徴と支援内容

● 児童への支援（熊本支援学校）

児童を対象とした施設では、年齢や発達段階に応じたセルフケア指導を実施した。

特に熊本県立熊本支援学校では、小学 1 年生を中心とした対象に対し、歯みがき動作の基礎から段階的に支援を行い、支援員の先生方への今後の児童本人への支援方法の指導を行った。学校現場における継続的なセルフケア習得支援の重要性が再認識された。

● 重度心身障がい者施設(はまゆう療育園・パレット新屋敷)

重度心身障がい者施設では、利用者本人のセルフケアが困難であることから、施設職員への保健指導が中心となった。はまゆう療育園では、日常的な口腔ケアの質を維持するための介助方法や観察ポイントについて助言を行った。今後は地域歯科医師との連携を含め、継続的な支援体制の構築が課題である。



毎年当該施設の歯科検診をされている天草郡市歯会の青砥専務理事も参加された

● 成人中心施設(つばき学園)

成人入所施設では、生活習慣に基づいた口腔衛生管理の維持が重要であり、個々の生活状況に応じた支援を行った。つばき学園では、施設職員と連携しながら、日常ケアの中で実践可能なブラッシング方法の確認と定着支援を行った。

● 親子支援型施設(のぞみ・あおば支援学校)

親子参加型の施設では、家庭と施設・学校が一体となった口腔管理の共有が特徴である。

児童発達支援センターののぞみでは、親子参加型指導を通じて家庭での口腔ケアの重要性を共有した。また熊本市立あおば支援学校では、養護教諭を中心とした日常的な歯科保健活動の総まとめとして位置づけられ、保護者も交えた形で歯科専門職による評価・助言を行った。学校・家庭・専門職が連携するモデル的な取り組みとなっている。



障がい児者の家族にも寄り添った支援を行っている

● 歯科健診実施施設(平成学園・はなぞの学苑)

平成学園およびはなぞの学苑では、歯科健診を中心に口腔内の状態把握を実施した。特にはなぞの学苑では多数の利用者に対する集団健診となり、効率性と個別性の両立が求められる対応となった。

■ 学校と福祉施設における連携の違い

学校現場では養護教諭を中心に、日常的な歯科保健活動が継続的に実施されており、今回の支援はその取り組みの確認および補完的な位置づけとなることが多い。一方、福祉施設では職員の役割が大きく、利用者の生活全体に関わる中での口腔ケア支援が求められる。

このように、同じ歯科保健指導であっても、現場の特性に応じて支援内容や関わり方が大きく異なることが明らかとなった。

本年度上半期の活動を通じて、施設ごとの対象特性や支援体制の違いに応じた歯科保健指導の重要性が改めて確認された。今後も、歯科医師および歯科衛生士が連携し、学校・福祉施設・家庭との協働を強化しながら、地域における障がい児(者)の口腔健康の維持・向上に努めていく。

(口腔保健センター 大坂 栄樹)

㊦ 小学校・中学校・高等学校および就学時前健診において、障がいのある方や療育機関に通われている方など、通常の集団歯科健診の受診が困難な場合には、熊本県歯科医師会口腔保健センターにて個別の歯科健診を実施しております。受診をご希望の際は、口腔保健センター(☎096-343-4382)までご連絡のうえ、ご予約をお願いします。



受け継いだミッション —歯科口腔病院の創設—

熊本市 伊東 隆利

はじめに

熊本県歯科医師会広報誌で「Legend ～伝説のささやき～」という欄を設けられたことは、県歯科医師会に敬老精神が健在であるということで感謝いたします。

I. 私と弟達のこと

私(伊東隆利、1942年生、84歳、日本大学歯学部卒)には、2人の弟(伊東隆三、1946年生、79歳、伊東泰蔵、1948年生、77歳、共に神奈川歯科大卒)がいます。3人共卒業後は、鹿児島大学医学部歯科口腔外科で同じ釜の飯を食って修行しました。症例の宝庫ともいべき南九州一円の患者が集まる拠点で、月々火水木金金の厳しかったけれど、楽しい時代でした。僕等の世代は第二次世界大戦敗戦後の朝粥、イモ粥を食べていた日本全国貧乏時代、その後の復興景気、猛烈社員で働き働きの時代、そしてやってきたジャパンアズNo.1、経済世界1となった時代、それから「カゲリ」がでてきて、リーマンショックなどで急降下の経済状況、失われた20年、そして最近是世界中がカオスとなり先行不透明と、波乱に満ちた時代の落とし子にあたります。

II. 父のこと

父、伊東武嗣は1913年(大正2年)生まれ、歯科医師となって1939年現在地で開業、2002年89歳で没しています。一介の町歯医者でしたが、向学心旺盛で、将来をいつも見ている人でした。若い時からキリスト教を信仰し、クリスチャンネームがヨゼフでしたが、ピッタリのネーミングでした。もちろん私達もクリスチャンの端くれです。父は私達3人の息子に2つの大きなミッションを残しました。

III. 父の残したミッション

①口腔科診療

歯科医の仕事は、歯だけではないぞ、歯肉もあれば骨もある。リンパもあれば血管、神経、筋肉もある。それらは全身に繋がっているので、歯科医の勉強は幅広く深い。自らの歯科医院のネーミングを1939年の昔から「伊東歯科口腔科醫院」としていました。この考えを汲んで1975年に入院設備がある有床の歯科医院となり、2009年病院化の時、伊東歯科口腔病院と命名しました。

②病院づくり

次は歯科大学がない熊本県においては、歯科各科の専門医が集まれる歯科病院が必要だというミッションでした。私の友人麻酔科医師から伊東君の有床歯科医院は、質・量共に病院並みのアドバイス、また蒲島郁夫前県知事の協力もいただき、2009年兄弟3人力を合わせてこの難しい医科の麻酔科を含む全国初の歯科口腔病院づくりのミッションを達成できました。

IV. 私と歯科医師会

さて、私と歯科医師会との繋がりは、1975年に会員となり、熊本市歯科医師会の広報委員を皮切りに、学術担当理事、その後県歯の地域歯科保健、介護保険、学校歯科担当の常務理事、最後は副会長にと、川崎会長、中根会長、鬼塚会長、堤会長の下で約20年間働かせていただきました。この時期は、医科、歯科混じえて介護保険の創設、医療提供体制の再編成などで県庁、厚生省、

日歯などに出入りすることが多く、幅広い人脈を得たことは感謝です。

V. 有床歯科医院から歯科口腔病院へ

さて、有床歯科ではじめてのところ、先生方から埋伏歯、感染症、嚢胞、腫瘍、顎関節症、当時は交通戦争といわれていた時代で、顔面、口腔、歯牙外傷症例などを紹介いただき、救急車で運ばれてくる患者さんも多くなりました。1983年から24時間、365日、救急対応を続けています。

また、隆三現院長・理事長がリーダーを務める矯正部門において、骨格型の手術症例が会員の先生方の紹介で増加し続け、大きな分野になりました。行政はじめ会員からの障がい者の歯科治療には当初泰蔵現という歯科院長が対応し、また、医科から多くの有病者の歯科治療を依頼されるようになりました。

色々な分野の治療をするので、勉強、研修し、学会の認定医、専門医を取得する必要性が迫っていました。口腔外科、矯正、歯周病、歯科麻酔、小児歯科、障害者歯科、インプラント、訪問診療、介護など、色々な分野の勉強に励みました。62歳の時、介護保険のケアマネージャーの試験に合格、試験はもう終わりかなと思っていたところ、82歳の時、日本顎顔面インプラント学会の専門医試験を受けることとなり、隆三院長も78歳で矯正の指導医でありながら、歯科専門医機構の専門医試験を受け、共に合格しましたが、共に最高年齢でした。

VI. 歯科大学のない熊本の問題点

①人材育成に難

厚生労働省で、歯科医師の研修制度が立ち上がり、入院設備がある当院にも研修施設にならないかという話があり、私も委員の1人として人材育成に協力することになりました。歯科大学がない地域での若き歯科医師育成に貢献できたらの思い一筋でした。

全国からこれまで178人が研修を終了し、特に親の後継者となった歯科医師も多く、地域歯科医療の継承に貢献できていると考えています。

人材育成は、歯科医師のみの話ではなく、コ・デンタルの育成も大切です。歯科技工士学校、歯科衛生士学校、大学での講義、当院での臨床実習にも熱心に取り組んできました。それぞれの職域学会での認定歯科衛生士、認定歯科技工士が育っています。人材育成は病院としての大切な務めです。

②陽の当たらない分野に光を

歯科大学がない地域のもう1つの問題は、陽の当たらない分野への関心の低さです。

口腔外科、救急歯科診療、障害者歯科診療、有病者歯科診療、訪問歯科診療、歯科検診活動も大切です。特に歯科検診については、創立者伊東武嗣先生が歯科検診は予防歯科の第一歩、疎かにしてはいけないと、この教えを守り検診、指導に取り組んでいます。これには当院だけでなく伊東歯科同門の先生方の協力も得て成し得ていることです。ご協力に感謝します。

VII. 女性歯科医師の今後の活躍を期待する

現在の当院の常勤歯科医師中、3人に1人は女性です。また、歯科大学の学生の50%は女性と聞いています。これからの歯科界は女性歯科医師を必須なスタッフとして位置づけ、かつ妊娠、出産、育児といった女性特有の仕事をこなしながら歯科臨床と両立していくことを目指さねばならないと考えています。女性歯科医師が増えることで、患者さんにも安心を与え、優しい細やかな神経の行き届いた職場づくりが出来上がると思って期待しています。

VIII. 嬉しかったこと、楽しかったこと

これまで熊本市長、県知事からの表彰、日本歯科医師会、日本学校歯科医会、日本歯科医学会、各専門学会からも功労賞、名誉会員、優秀発表賞、優秀論文賞などを受賞できました。熊本大地

震の時は避難所、救急歯科医療への貢献に大西市長より感謝状をいただきました。2015年には旭日双光章を天皇陛下よりいただくことができました。歯科医冥利に尽きることでした。感謝です。

私事になりますが、私達の結婚からは2020年に50年を迎え、金婚式でした。熊本日日新聞社主催で行われていますが、たまたま私達夫婦と隆三院長夫妻は、同じ日に同じ教会で式を挙げていましたので、2組の50年組が市民代表で挨拶する機会をいただき、大変楽しくいい女房孝行ができたことでした。

おわりに

この機会に振り返ってみて、日本で最初、今のところ唯一の歯科口腔病院ができたのは、熊本県の歯科界の先生方のご協力があったからこそその念を強くしました。これからも、働き甲斐のある次世代が受け継いでいくような歯科界になっていくことを祈っています。

私たちの歯科口腔病院が、先生方のお役に立てれば幸いです。



病院全景 1階受付、訪問診療部、2階外来、技工部、画像センター、
3階 手術室、病棟、医局、会議室



スポーツの日
家族混じりの元気あふれる院内運動会
(地元黒髪小学校体育館にて 2025年10月)



- ①今もっとも関心のあることを教えてください。
- ②自分が希望する歯科診療とはどのようなものとお考えですか。
- ③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
- ④今後の抱負は何ですか。

第1種会員



中井 大史
(ナカイ ダイシ)

なかい歯科・口腔外科クリニック
熊本市東区花立2-3-5

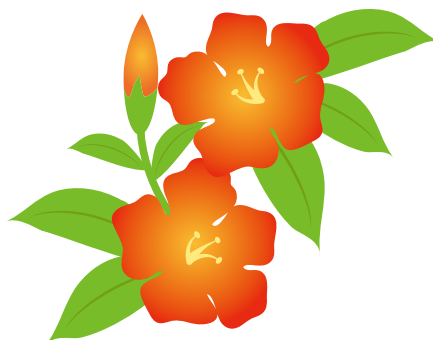
- ①どうすれば、今よりもっと患者さんの負担が少ない親知らず抜歯・口腔外科処置ができるか？
どうすれば、顎変形症の患者さんの術後が機能的にも審美的にももっと美しく満足してもらえる様にできるか？ …ばっかり考えています。
- ②今まで歯科治療が苦手で、なかなか通院できなかった患者さんが安心して通える様な、歯科治療が「イヤなこと・痛いこと」ではなくもっと身近に感じてもらえる様なものであると良いなと考えています。
- ③この歳になるまで（50歳…）、ずっと口腔外科手技の研鑽を積んできましたので、親知らず抜歯をはじめとする口腔外科処置や診断には自信があります。
即日対応をモットーにしておりますので、なんでもご依頼頂けると幸いです。
- ④会員の先生方と連携を密にとりながら、地域の皆さんに愛される歯科医院づくりをしていきたいと考えております。
どうぞ宜しくお願い致します。



渡邊 裕平
(ワタナベ ユウヘイ)

歯科わたなべ
熊本市東区御領1-7-40

- ①まだまだ治療がメインでありもっと予防の大切さが広まり8割、9割の人が定期的な歯科受診を受けて頂くにはどうするか。
- ②口腔内から全身の健康を考えたトータルな管理をしていくもの。
- ③空気清浄化装置「メディカルライトエアープラス」や水質の浄化「ポセイドン」など、より環境の良い中で診療を受けられること。
- ④開業したてのためまずは「歯科わたなべ」がこの場所に来て良かったと地域の人に思ってもらふこと。





中嶋文夫管理人 退任式



6月27日(土)、長年にわたり県歯会館、熊本歯科衛生士専門学院、口腔保健センターの施設管理に多大なるご貢献をいただいた、中嶋文夫管理人の退任式が執り行われた。

中嶋管理人は平成6年10月の入職以来、約32年という長きにわたって施設の安全と良好な環境の維持に努めていただいた。これまでの多大なるご尽力に深い感謝の意を表し、牛島会長より感謝状が授与された。



牛島会長より感謝状の授与



退任の挨拶を述べられる中嶋氏

ご 訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



青山 雅子 先生

令和8年7月10日 ご逝去 84歳

- 郡 市 名：熊本市
- 入会年月日：昭和44年5月22日

会 務 報 告

 自 令和8年5月22日
 至 令和8年6月4日

所管	日付	摘要	出務者
総 務	5月22日	【Web】くまもとメディカルネットワーク（KMN）コアメンバー会議	宇治専務理事
	23日	くま歯キャラバン隊（九大歯学部同窓会熊本県支部）（パレアホール） （1）点数改定対策研修 受講者：20人	野田理事
		くま歯キャラバン隊（長大歯学部同窓会熊本県支部）（パレアホール） （1）点数改定対策研修 受講者：25人	園田理事
	25日	第2回災害時等歯科保健医療提供体制整備事業打合せ（診療所） （1）歯科用診療車	宇治専務理事
	26日	月次監査 4月末会計現況監査	神山・永松監事
		第13回理事会 【承認事項】 （1）第4種会員代表歯科医変更（2）関係機関・団体からの役員等推薦依頼 【議題】 （1）関係機関・団体への会費等の納入（2）一般社団法人熊本県歯科医師会各規則の一部改正（案）（3）一般社団法人熊本県歯科医師会選挙管理委員会の委員の任期の特例に関する規則（案）ほか	牛島会長他全役員
		九州地方社会保険医療協議会熊本本部・総会（第二合同庁舎）	椿副会長
	27日	第1回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	椿副会長
	28日	県人権啓発推進協議会（県庁防災センター）	永江事務局長
		【Web】くま歯キャラバン隊（上益城郡）（各診療所） （1）点数改定対策研修 受講者：21人	野田理事
		第3回災害時等歯科保健医療提供体制整備事業打合せ	宇治専務理事、椿常務理事
	29日	第142回都道府県会長会議（日歯会館）	牛島会長
		【Web】くま歯キャラバン隊（水俣芦北郡市）（つなぎ文化センター） （1）点数改定対策研修 受講者：15人	野田理事
学 術	30日	上益城郡歯会通常総会（嘉島町）	工藤副会長、宇治専務理事
	6月2日	【Web】第22回常務理事会（各診療所） （1）新入会員（2）関係機関・団体からの役員等推薦依頼（3）関係機関・団体への会費等の納入 ほか	【Web】牛島会長他常務理事以上全役員
	4日	県総合保健センター第1回理事会（県総合保健センター）	牛島会長
		第12回県地域医療構想調整会議（県医師会館）	牛島会長
学 術	5月31日	こどもシゴト博 in 熊本（グランメッセ熊本）	片山副委員長、内野委員
社会保険	5月30日	社会保険委員会 （1）会員向け発行物（2）個別指導立案者、個別指導対応（3）報告事項と今後の日程	野田・園田理事、桐野委員長他12委員
	6月3日	【Web】日歯社会保険委員会（診療所）	椿副会長
地域保健 学校歯科	5月22日	地域保健学校歯科小委員会 （1）歯の祭典実施内容打合せ	馬場常務理事、松原崇士理事、高水 間委員長他4委員
	26日	【Web】県学校保健会第1回総務委員会（診療所）	牛島会長
	29日	県困難女性等支援調整会議（県庁）	宮崎課長補佐
	31日	こどもシゴト博 in 熊本（グランメッセ熊本）	高田・松原崇士理事他2委員
	6月2日	県学校保健会第1回理事会（書面決議）	牛島会長、大林副会長
地域包括 ケア	5月26日	【Web】カムカム健康プログラム打合せ（診療所） （1）カムカム健康プログラムライセンス	町田常務理事他1人
	27日	【Web】地域における口腔への取り組み導入のための打合せ（診療所） （1）高森町オーラルフレイル対策普及定着事業モデル地域	町田常務理事
	6月1日	【Web】県後期高齢者医療広域連合との歯科健診受診率向上への取組み協議（各診療所） （1）歯科健診受診率1%未満対象市町村の歯科医師会へ訪問協力依頼（2）歯科口腔健康 診査 受診率向上動画制作協議	立山理事、川野副委員長
広 報	5月28日	よ坊さんとくまモンの啓発イベントリハーサル （1）よ坊さん着ぐるみ試着	秋山理事、西川副委員長他1委員
	31日	こどもシゴト博 in 熊本（グランメッセ熊本）	井上・田中委員
	6月3日	よ坊さんとくまモンの啓発イベント（くまモンスクエア）	秋山理事、月精委員長、西川副委員長、 川島委員、金子アンバサダー
医療対策	5月27日	医療相談	椿常務理事、松原良太理事、町田委 員長
	6月1日	第1回コンプライアンス推進会議	牛島会長、工藤副会長、宇治専務理 事、椿常務理事、牧・松原良太理事、 弘中副学院長、井上教務部長
厚生・医療 管理	5月31日	こどもシゴト博 in 熊本（グランメッセ熊本）	牧理事、黒岩委員長
	6月2日	アサヒブリテック株式会社との打合せ（診療所） （1）アマルガム処分	宇治専務理事

所管	日付	摘要	出務者
厚生・医療 管理	4日	歯科医療職人材確保事業打合せ (1) 歯科医師バンク構想 (2) DH、DTの確保 (3) 県歯科技工士会との会合	工藤副会長、町田常務理事、牧理事、 黒岩委員長他1委員
センター	5月22日	第64回日本小児歯科学会大会（沖縄コンベンションセンター）	我那覇副センター長他1人
		アクティブネットワーク九州打合せ（口腔保健センター） (1) 交流会 (2) 研修会	椿センター長、大坂副センター長、 川島診療部長
	23日	アクティブネットワーク九州準備 会場設営	椿センター長、我那覇・大坂副セン ター長
		口腔保健センター見学会（県歯会館・口腔保健センター） (1) 口腔保健センター施設説明 (2) 口腔保健センター診療見学会 参加者：24人	我那覇副センター長
		アクティブネットワーク九州親睦会（熊本市） 参加者：32人	椿センター長、我那覇・大坂副セン ター長、三笠常任理事他協力医3人
		アクティブネットワーク九州交流会（熊本市内） 参加者：60人	牛島会長、椿センター長、宇治専務 理事、我那覇・大坂副センター長、 三笠常任理事、川島診療部長他協力 医3人
学 院	24日	アクティブネットワーク九州 (1) 講師：大阪大学大学院歯学研究科予測歯科創造共同研究講座特任教授 天野 敦雄先 生 演題：「自分で歯を磨けないひとの口（くち）を守るために」(2) 講師：NPO法人オ ハイエくまもと理事長 入部 祥子先生 演題：「私のボランティア活動からオハイエ活動 で思うこと」(3) ポスターセッション ほか	牛島会長、椿センター長、宇治専務 理事、我那覇・大坂副センター長、 三笠常任理事、川島診療部長他協力 医5人
	5月23日	第1回オープンキャンパス 参加者：11人	
	25日	学院高校訪問（熊本市4件）（各高校）	牛島学院長、熊本市渡辺会長
	27日	学院高校訪問（熊本市1件）（各高校）	紫藤係長
		熊専各連定時総会・懇親会（KKRホテル熊本）	大林副学院長
	28日	学院高校訪問（人吉球磨3件）（各高校）	人吉球磨向江副会長
		全国歯科衛生士教育協議会令和8年度総会（TKP東京駅大手町カンファレンスセンター22 階）	牛島学院長
	30日	第2回オープンキャンパス 参加者：10人	
	6月1日	学院高校訪問（熊本市3件）（各高校）	紫藤係長
	2日	学院高校訪問（熊本市1件）（各高校）	紫藤係長

職 員 人 事

退 職

地域保健課

主任

鬼塚麻衣子

令和8年6月30日付

其の
1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も 1000 万円
まで加入 OK

最高「5000 万円」の
保障が無診査で加入 OK
保険期間は80才まで継続可能！

1年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
(2025年の還元率約 49%)

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の
2

既に下記の保険会社で加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！



下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。



個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命 アフラック生命 住友生命 SOMPO ひまわり生命
第一生命 日本生命 メットライフ生命

主な行事予定

September **9**

1日(火) 第28回常務理事会 (県歯会館)

15日(火) 第29回常務理事会 (県歯会館)

24日(木) 第17回理事会 (県歯会館)



熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度



県歯公式Instagramを開設しました！

- ▼ kumamoto_dental_association
- ▼ 一般社団法人熊本県歯科医師会【公式】

お口の健康に役立つ豆知識や、講演会・各種イベントなどの情報をお届けします。ぜひ、フォローをよろしくお願いいたします！



KUMAMOTO_DENTAL_ASSOCIATION



県歯公式Instagram

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagramでも情報発信中！
ぜひご覧ください



熊本県ご当地よ坊さん



熊本歯科衛生士専門学院
Instagram

編集者のつぶやき (K.M.)

梅雨が明けたと思ったら、一気に気温が30度を超える真夏日続きですね。特に機材を携えて外を回る訪問診療では、移動中や診療中に熱中症にならないか心配な場面も多々あります。患者さんのためにも、まずは私たち自身が万全の体調を維持しなければなりません。そこで、少しでも快適に夏を乗り切るために、手軽な冷感グッズの新作を色々と試してみようと思います。